

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なかよしひろば		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日	~	2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 56
○従業者評価実施期間	2025年1月20日	~	2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月20日	~	2025年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16	(回答数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関との連携体制	訪問先の施設や保護者様と必要な時には電話や面談等を行なが ら気になることがあればすぐに連絡を取り合うように心がけています。 情報共有することで、お子様の特性等を共通理解のもとに支援が行なえるように取り組んでいます。	保護者様のニーズを確認しつつ、定期的に訪問事業を行うことで訪問先施設となかよしひろばのお互いの役割分担や共通理解の面等、情報共有できる部分を大切にし引き続きより良い支援が行なえるように取り組んでいきます。
2	訪問時に訪問先の先生方の質問等に対して適時、適切に回答している。	子どもや訪問先の先生方の状況や気持ちに寄り添いながら具体的な支援方法について提案、共有するように努めている。	保護者の気持ちに寄り添う姿勢を継続しながら、丁寧な説明で共通理解の下で支援ができるように努めています。
3	満足度の項目の評価が高い	訪問へ行く前に保護者様にお子様の気になる点や見て欲しい所などを聞いてから行くようにし、訪問した際のお子様の園での様子をコドモンのアプリを使って配信することでお子様がどのように園生活を過ごしているのか保護者様にも伝わりやすいようにしています。	訪問へ行った後は必ず終礼等で訪問時の様子や訪問先施設の担当者と面談した内容等について振り返りをしています。職員全員の理解の元、保護者様や関係機関との連携をとりながら引き続き期待に添えるように取り組みたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の外部研修参加の充実が図れていなかった。	内部研修の機会はあるが外部研修の機会が少なかった為、研修に対しての情報共有をしていく必要がある。	研修を通して学びたい気持ちや知りたいという気持ちを持つてもらえるような機会を意図的に作り、専門的な支援に繋げていく。
2	保護者（家族）に対しての勉強会、研修会の情報提供の機会が十分に図れていなかった。	毎週一度、臨床心理士が参加して行なう保護者ミーティングを開催しているが現状では沢山の方が参加を希望されても対応が難しい。	保護者ミーティング以外にもペアレントプログラムの紹介などを行なっていく。また一般の方が参加できる研修会の周知等も行なっていく。
3	非常時等の対応についてのマニュアルの周知が十分に行き届いていなかった。	コドモンの活用が十分に出来ていなかった。各種マニュアルを掲載しても保護者が閲覧できていない状況だったことに気付いていなかった。	保護者にマニュアルの掲載をしていることを周知し、閲覧できない場合や操作方法が解らない方には丁寧に対応していく。また保護者が見て解りやすいようにマニュアルの見直しも行なっていく。